



ながおか医療生協
あたごこどもクリニック
〒940-0038 長岡市琴平1丁目2-1
電話番号 0258-36-5810
<http://www.nagaoka-iryuu-seikyuu.jp/>

診療案内

☆寒い日が続いています。早く、春が来ないか待ち遠しいですね。

☆インフルエンザワクチン接種が終わりましたが、これからがインフルエンザやRSなどの冬の感染症の本番です。インフルエンザはA型、B型ともに見られますが、爆発的に流行しているという印象はありません。昨年末からのアデノウイルス、溶連菌、感染性胃腸炎も流行っています。うがい、手洗いで予防に心掛けてください。

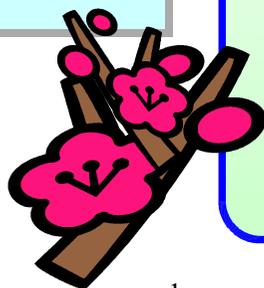
☆今まで、1歳以上の予防接種の最終枠は16:30でしたが、2月より16:45に少し延長します。ご希望の方は、予約システムまたは窓口・電話でご予約お願いいたします。

☆待合室受付前の荷物置き場の下に、数冊発達関係の本を置きました。よろしければ、待ち時間にお読みください。

☆待合室での感染症予防のため、感染症でない患者さんの待合スペースを増やしました。予防接種・専門外来待合室と赤ちゃん待合室を別にし、2室をご利用いただけるようにしました。限られたスペースですが、可能な限りの感染症予防を行っていきたいと思います。

2月の診療予定

- ・本間医師（2日午前・午後 16日午前）
- ・臨時休診：ありません



受付開始：一般診療は午前8時30分、午後15時30分です。

☆一般診療

直接来院の場合は、診療時間内に受診してください。
予約希望の場合は、前日0:00からスマホ、携帯、PCより予約システムでご予約ください。
付き添いのお母さん等が体調不良の時も、お気軽にご相談ください。緊急の場合や、特別な相談がある場合には、まずお電話ください。

☆**予防接種、乳児健診**：スマホ、携帯、PCより予約システムでご予約ください（2ヶ月後の予約までできます）。今まで通り、窓口または電話でご予約もできます。

☆専門外来

①**発達外来(第2・4火 13:30~15:30、予約制)** 小児神経専門医による診療を行っています。言葉が遅い、コミュニケーションがとりづらい、落ち着きがない、かんしゃくを起こしやすい等の発達障害をご心配されている方、ひきつけ、チック、夜尿症などの発達や神経に関する心配がある方は、お気軽にご相談ください。

②**アレルギー外来(第1・3金 9:00~12:00 予約可)**
アレルギー専門医による診療を行っています。食物アレルギー、ぜんそく、アトピー性皮膚炎、花粉症等で心配がある方は、ご相談ください。

☆発達外来、アレルギー外来受診希望の場合には、電話で予約をお願いいたします。(Web予約はできません)

☆生協こどもクリニックとも協力して診察を行っています。病児保育室「すこやか」を利用希望の方は、当院を窓口にして利用することもできます。

子は親の鏡、親は子の鏡

★イタリアのRizzolattiらは、サルの脳の働きを調べる実験を行っていました。実験はなかなかうまくいきませんでした。休憩時間にジェラート（イタリアなので）を食べていたら、実験中のサルの脳に予想もしない反応が起きていることに気が付きました。サルは、ジェラートを食べていないのに、人が食べているのを見ただけで、食べているのと同じ反応が脳に見られました。専門的になりますが脳の**下前頭回**（F5領域）と**上側頭溝**という部位で反応がありました。他の個体の行動を見て、まるで自身が同じ行動をとっているかのような“鏡”のような反応をする神経細胞（ニューロン）が存在することがわかり「ミラーニューロン」と名付けられ1996年に報告されました。その後、ヒトでも同じ細胞があることが明らかになりました。

★ミラーニューロンは、物まね細胞、共感細胞と呼ばれ、相手の動作を自動的に自分の脳の中にコピーするしくみです。相手の動作を頭の中でシュミレーションすることで相手の意図や感情を推測することができるようになります。感情もコピーされ、もらい泣きなどもこの細胞の働きです。他人の感覚、感情を自分の自分のものとして感じる能力、すなわち「相手の身になる」、「共感する」能力のもとでもあります。カメレオンのように自分を周囲の色に染める細胞ともいえます。社会の中で集団で生きていくためには、重要な機能です。仲のよい夫婦が顔つきやしぐさまで似てくるのはこの細胞のためと言われています。相手を自分の脳内に投影しコピーできる反面、コピーしたものが他者なのか自己なのかを区別することが大切で、これがうまくいかないと統合失調症のような症状になると言われています。

★自閉症のメカニズムと関係する心の理論（Theory of Mind）というのがあります。「他人が自分にとって安心できる存在であり、相手の気持ち・心を感覚的、直感的に読み、相手と思いを共有しようとする」というような働きが不調だと自閉症の症状につながるという考え方です。まさしくミラーニューロンの不調は、心の理論の不調であり、自閉症や統合失調症と関係すると考えられます。自閉症でなくても空気が読めない、場にそぐわない行動をしがちな人などは、ミラーニューロンの調子が少しよくないのかもしれないかもしれません（私もですが）。

★ミラーニューロンは、こどもの発達にとっても大切な働きをしています。あたりまえのことですが、子どもは親を見て、親のまねをして育ちます。親が優しく接すれば子どもも優しくなり、叱ってばかりいれば、友達に対しても同じような行動をとります。その役割を担うのがミラーニューロンです。こどもは遺伝的にも環境的にも親のコピーとして始まり、そこから個人としての個性が育っていきます。こどもの発達、成長に育てる環境が大事なのは言うまでもありません。子は親の鏡、親は子の鏡です。

